

IBLCE としての知識と技術の試験概要

この概要は、試験のために知っておくべき範囲を示したもので、更に熟練した専門家になるために必要な知識を提示しています。例は単にガイダンスにすぎず、学習項目のすべてを網羅しているわけではありません。

すべての問題は学科と期間・月齢別区分の要素を持ちます。学科と期間・月齢別区分のそれぞれに関連している出題数の範囲は、それぞれのトピックのあとの括弧内に記します。例えば、解剖問題は 19-33 問、赤ちゃんが 4-6 カ月の間の問題は 9-17 問というふうです。後出の例題集をみて、この出題範囲と照らし合わせてみるとよいでしょう。

A. 母子の解剖学 (19-33)

(例 乳房、乳首の構造と発達; 血液、リンパ、神経、乳房組織; 児の口腔内の解剖と反射; 評価; 解剖学的バリエーション)

B. 正常な母子の生理学と内分泌学 (19-33)

(例 ホルモン; 母乳分泌; 母乳分泌のエンドクリン/オートクリンコントロール; 養子の母乳育児; 妊孕性; 児の肝・腎・脾臓の機能; 代謝; 補足食の影響; 消化と消化管; 排泄パターン)

C. 正常な母子の栄養と生化学 (10-16)

(例 母乳の産生と組成; 母乳の成分とその働き、児への影響; 他の製品・人工乳と母乳との比較; 授乳パターンと摂取量の経時的変化; 母親の食事のバリエーション; 儀式的伝統的食品; 離乳食の導入)

D. 母子の免疫学と感染症 (10-16)

(例 抗体と他の免疫因子; 交差感染; 母乳中の細菌とウイルス; アレルギーと食物過敏; 長期的感染予防)

E. 母子の病理学 (19-33)

(例 急性/慢性の異常と病気、局所的なものや全身のもの; 乳房と乳首の問題と病理; 内分泌病理; 母子の身体的、神経学的異常; 先天性異常; 口腔病理; 神経学的未熟性; 発育不全; 高ビリルビン血症と低血糖)

F. 母子の薬理学と毒物学 (10-16)

(例 環境汚染; 母親の処方薬・市販薬と社会的および娯楽的薬物の使用の児、母乳組成、母乳分泌への影響; 母乳分泌促進/抑制薬; 陣痛中に使われた薬の影響; 避妊薬; 補足治療)

G. 心理学、社会学、人類学 (10-16)

(例 カウンセリングと成人教育技術; 悲嘆、産後うつ病と精神病; 社会経済学的、母乳育児に関する生活習慣、雇用問題; 母子関係; 母親の役割への適応; ペアレンティング技術; 睡眠パターン; 文化的信条と実際; 家族; 支援組織; ドメスティック・バイオレンス〔家庭内暴力〕; 特別なニーズのある母親、例: 若年者、移住者)

H. 成長パラメーターと発達の指標 (10-16)

(例 胎児と未熟児の成長; 母乳哺育児と人工哺育児の成長パターン; 児の身体的、心理的、認知的発達の正常と遅れの兆候; 12 カ月間とそれ以上の母乳哺育行動; 乳離れ)

I. 研究の解釈 (4-8)

(研究文献、母乳コンサルタント教育教材、消費者文化の批判的評価や解釈の技術; 研究文献の評価のための批判技術; 研究や基本的統計で使われる用語の理解; 表やグラフの読解; 調査とデータ収集)

J. 倫理と法的問題 (4-8)

(例 IBLCE 倫理基準; ILCA 臨床基準; 職務範囲内での臨床; 照会と相互協力関係; 守秘義務; 医学的法的責任; カルテと報告書の作成技術; 記録保持; インフォームド・コンセント; バッテリー; 育児放棄と母子虐待のケース; 利害関係の衝突; 器具レンタル、販売の倫理)

K. 母乳育児補助器具と技術 (10-16)

(例 母乳育児補助器具とその適切な使用、使用法の技術; 母乳の扱いと保存、母乳銀行のプロトコールを含む)

L. 技術 (19-33)

(例 授乳姿勢と吸いつかせ方、授乳の評価を含む母乳育児技術; 母乳育児対処法; 正常な授乳パターン; 搾乳)

M. 公衆衛生 (4-8)

(例 母乳育児推進と地域教育; 低母乳育児率のグループとの活動; プロトコールの作成と実施; 国際的な道具と文書; WHO コード; BFH イニシアチブの実行; 流行、調査、研究目的のデータ収集)

期間月齢区分

1. 妊娠前 (2-7)
2. 出産前 (9-17)
3. 陣痛/出産 (周産期) (9-17)
4. 未熟児 (9-17)
5. 日齢 0-2 (19-31)
6. 日齢 3-14 (19-31)
7. 日齢 15-28 (19-31)
8. 月齢 1-3 (9-17)
9. 月齢 4-6 (9-17)
10. 月齢 7-12 (2-7)
11. 月齢 12 カ月以上 (2-7)
12. 特定せず (40-53)